



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年2月5日

上場会社名 カネ美食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2669 URL <http://www.kanemi-foods.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）三輪 幸太郎
 問合せ先責任者 （役職名）経理財務部長 （氏名）伊藤 誠 TEL 052-879-6111
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	63,558	—	1,899	—	1,996	—	1,337	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	134.32	—
25年3月期第3四半期	—	—

（注）当社は、平成25年10月1日付で連結子会社である株式会社エスジーダイニングを吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第3四半期累計期間から四半期財務諸表を作成しております。そのため前第3四半期累計期間については、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	33,045	25,363	76.8	2,547.61
25年3月期	31,079	24,348	78.3	2,445.54

（参考）自己資本 26年3月期第3四半期 25,363百万円 25年3月期 24,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
26年3月期	—	25.00	—		
26年3月期（予想）				25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,213	3.7	2,343	13.5	2,402	11.5	1,312	29.5	131.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	10,000,000株	25年3月期	10,000,000株
26年3月期3Q	44,206株	25年3月期	43,775株
26年3月期3Q	9,955,903株	25年3月期3Q	9,958,016株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、第2四半期累計期間までは、連結業績等を開示しておりましたが、平成25年10月1日付で連結子会社である株式会社エスジーダイニングを吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第3四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(企業結合等関係)	7
(セグメント情報等)	8
5. 主要な経営指標等の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策の効果による株価の上昇や円安の進行を背景として企業収益や個人消費などは回復基調にあるものの、海外経済の下振れリスクや消費税率の引き上げに伴う消費マインドの低下への懸念など、引き続き先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社は、他社との差別化を図り企業全体の底上げに努めるため、各事業がそれぞれ培ってきたノウハウを融合させて商品戦略の共有や人材の交流を推し進め、引き続き商品力や人材の強化に注力してまいりました。

当社及び報告セグメントの当第3四半期累計期間の業績は、以下のとおりであります。

なお、第2四半期累計期間まで「その他」の区分に含めておりました外食事業（㈱エスジーダイニング）は平成25年10月1日付で当社が吸収合併したことに伴い当第3四半期累計期間より「テナント事業」の区分に含めております。

また、当第3四半期累計期間から四半期財務諸表を作成しておりますので、業績の状況における前年同期間との比較に関する事項についての記載を行っておりません。

① 売上高（セグメント間の内部売上高を除く。）

当第3四半期累計期間の売上高は、635億58百万円となりました。

テナント事業においては、引き続き新規出店店舗や改装店舗を中心に既存商品や売場のブラッシュアップを図る一方で、一部の店舗ではスチームコンベクションオーブンを使用し、焼き魚やグリルチキン、ピザなどの「焼き」工程を取り入れた商品を強化するなど、販売商品の拡充に努めてまいりました。

これらの結果、テナント事業の売上高は318億93百万円となりました。

外販事業においては、新たな弁当シリーズ「GOZEN deli」の充実や中京地区のサークルKサンクス店舗に納品する弁当のラップレス化を実施し、商品の見栄えやイメージの向上に努めてまいりました。

また、宅配関連においては既存納品先の納品量の増加に加え、新たに10月より「東海コープ事業連合」へのチルド商品（サラダパック）の納品を開始し、夕食宅配の弁当やおかずだけでなく、新たな納品アイテムの拡充にも注力しました。

これらの結果、外販事業の売上高は316億64百万円となりました。

② 営業利益

当第3四半期累計期間の営業利益は、18億99百万円となりました。

テナント事業においては、新規出店や既存店舗の改装の実施により、売上高は順調に推移したものの、営業時間の拡大に伴う労務費の増加や原材料価格の高騰等が利益率の圧迫要因となり、テナント事業のセグメント利益は12億19百万円となりました。

外販事業においては、売上高の増加が大きく影響したことに加え、前期に実施した改築工事に伴う経費の減額が主な要因となり、外販事業のセグメント利益は6億79百万円となりました。

③ 経常利益

当第3四半期累計期間の経常利益は、上述の要因等により19億96百万円となりました。

④ 特別利益

当第3四半期累計期間において、連結子会社である株式会社エスジーダイニングを吸収合併したことに伴い、抱合せ株式消滅差益2億40百万円を特別利益として計上しました。

⑤ 特別損失

当第3四半期累計期間において、減損損失43百万円を特別損失として計上しました。

⑥ 四半期純利益

当第3四半期累計期間の四半期純利益は、13億37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期累計期間における総資産は、前事業年度末に比べ19億65百万円増加して330億45百万円となりました。

この主な要因は、売掛金が13億31百万円、たな卸資産が1億65百万円、本社の移転に伴う設備投資や生産設備の更新及び増強等により有形固定資産が3億42百万円それぞれ増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ9億50百万円増加して76億81百万円となりました。

この主な要因は、買掛金が8億2百万円、未払金が1億84百万円、未払費用が1億55百万円それぞれ増加した一方で未払法人税等が2億13百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ10億15百万円増加して253億63百万円となりました。

この主な要因は四半期純利益により利益剰余金が13億37百万円増加した一方で配当金の支払額が4億97百万円あったことなどによります。

これらにより、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末の78.3%から76.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に公表いたしました個別業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,859,650	10,936,978
売掛金	4,091,695	5,423,483
有価証券	999,805	999,839
商品及び製品	20,364	12,590
仕掛品	18,270	77,954
原材料及び貯蔵品	419,231	533,235
前払費用	45,637	97,473
繰延税金資産	394,456	342,572
未収入金	162,642	109,347
テナント預け金	63,731	83,493
その他	21,783	14,468
流動資産合計	17,097,270	18,631,436
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,952,168	4,349,815
構築物（純額）	497,161	474,603
機械及び装置（純額）	1,918,311	1,959,618
工具、器具及び備品（純額）	318,618	351,397
土地	4,509,825	4,509,825
建設仮勘定	155,200	48,905
有形固定資産合計	11,351,285	11,694,165
無形固定資産		
借地権	79,098	105,956
商標権	317	259
ソフトウェア	117,147	104,273
電話加入権	31,757	31,757
施設利用権	18,639	15,691
ソフトウェア仮勘定	6,500	6,500
無形固定資産合計	253,460	264,437
投資その他の資産		
投資有価証券	942,965	1,360,051
関係会社株式	778,770	631,666
出資金	980	980
長期前払費用	41,421	39,054
繰延税金資産	319,915	100,325
差入保証金	262,768	290,393
会員権	7,100	7,100
その他	23,874	25,661
投資その他の資産合計	2,377,795	2,455,232
固定資産合計	13,982,541	14,413,835
資産合計	31,079,812	33,045,272

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3 月31日)	当第3 四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,508,511	3,311,343
未払金	793,153	978,083
未払費用	1,434,407	1,589,852
未払法人税等	427,000	214,000
未払消費税等	180,368	307,580
預り金	176,523	300,703
前受収益	2,677	2,670
賞与引当金	793,700	651,300
役員賞与引当金	—	8,600
資産除去債務	—	432
その他	0	0
流動負債合計	6,316,342	7,364,566
固定負債		
退職給付引当金	208,138	98,752
資産除去債務	42,258	72,824
長期預り保証金	33,260	28,686
長期未払金	131,509	117,001
固定負債合計	415,166	317,263
負債合計	6,731,508	7,681,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金		
資本準備金	2,174,336	2,174,336
資本剰余金合計	2,174,336	2,174,336
利益剰余金		
利益準備金	81,045	81,045
その他利益剰余金		
別途積立金	10,300,000	10,300,000
繰越利益剰余金	9,458,266	10,297,748
利益剰余金合計	19,839,311	20,678,793
自己株式	△125,920	△127,171
株主資本合計	23,889,990	24,728,220
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	458,312	635,220
評価・換算差額等合計	458,312	635,220
純資産合計	24,348,303	25,363,441
負債純資産合計	31,079,812	33,045,272

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	63,558,055
売上原価	55,161,210
売上総利益	8,396,844
販売費及び一般管理費	6,497,355
営業利益	1,899,488
営業外収益	
受取利息	2,779
受取配当金	50,210
不動産賃貸料	18,434
その他	39,499
営業外収益合計	110,924
営業外費用	
不動産賃貸原価	12,729
その他	785
営業外費用合計	13,515
経常利益	1,996,897
特別利益	
固定資産売却益	0
投資有価証券売却益	5,731
抱合せ株式消滅差益	240,831
特別利益合計	246,563
特別損失	
固定資産除却損	39,210
減損損失	43,846
特別損失合計	83,057
税引前四半期純利益	2,160,403
法人税、住民税及び事業税	659,988
法人税等調整額	163,132
法人税等合計	823,120
四半期純利益	1,337,282

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期会計期間（自平成25年10月1日 至平成25年12月31日）

共通支配下の取引等

当社は平成25年10月1日付で、当社の100%出資連結子会社である株式会社エスジーダイニングを吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

① 事業の名称

当社の100%出資連結子会社である株式会社エスジーダイニングの全事業

② 事業の内容

飲食店の経営及び魚介類の加工並びに販売

(2) 企業結合日

平成25年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社エスジーダイニングは解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社エスジーダイニングは当社の100%出資連結子会社であり、回転寿司店舗等の運営や寿司種等の加工を行い、当社のテナント事業へ納品を行っております。

この度、当社は意思決定の迅速化と業務効率の向上を図るため、株式会社エスジーダイニングを吸収合併いたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (千円)
	テナント 事業 (千円)	外販事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への 売上高	31,893,500	31,664,555	63,558,055	—	63,558,055
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	1,073,638	1,073,638	△1,073,638	—
計	31,893,500	32,738,194	64,631,694	△1,073,638	63,558,055
セグメント利益	1,219,778	679,633	1,899,411	76	1,899,488

(注) 1. 当第3四半期累計期間から四半期財務諸表を作成しているため、前第3四半期累計期間については、記載をしております。

2. セグメント利益の調整額76千円は、セグメント間の内部取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期累計期間まで「その他」の区分に含めておりました外食事業（㈱エスジーダイニング）は平成25年10月1日付で当社が吸収合併したことに伴い当第3四半期累計期間より「テナント事業」の区分に含めております。

5. 主要な経営指標等の推移

主要な経営指標等の推移

回次	第43期 第3四半期連結 累計期間	第44期 第3四半期 累計期間	第43期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	61,738,421	63,558,055	81,145,052
経常利益（千円）	1,469,315	1,996,897	2,153,568
四半期（当期）純利益（千円）	548,987	1,337,282	1,013,419
純資産額（千円）	23,928,516	25,363,441	24,348,303
総資産額（千円）	31,906,875	33,045,272	31,079,812
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	55.13	134.32	101.77
自己資本比率（％）	75.0	76.8	78.3

（注） 1. 当社は、平成25年10月1日付で、連結子会社である株式会社エスジーダイニングを吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第3四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。

これにより、第43期第3四半期連結累計期間は連結経営指標等を、第44期第3四半期累計期間及び第43期は提出会社の経営指標等を記載しております。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。